

医療・福祉

安心のまち熊本へ

医療・福祉 **ニュース** KUMAMOTO

23億円かけ特養「ひろやす荘」を新築移転

慈光会

社会福祉法人慈光会(益城町安永)は、同地で運営する特別養護老人ホーム「ひろやす荘」を新築移転し、このほど完成した。総事業費は約23億円。

今年で開設から40年を迎え、施設が老朽化、狭隘(きょうあい)化していることから、既存施設400メートル北側の敷地を取得、2011年10月から工事を進めていた。敷地面積は約2万㎡、建物は鉄筋コンクリート平屋建てで、延べ床面積が9071㎡。特養はユニット型個室10ユニットと多床室を設けており、140床は従来通り。ショートステイはユニット型短期入所2ユニットを設け、6床増やし15床にした。そのほか、通所介護(認知症対応型含む)や訪問介護、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターを併設している。スタッフ数はパートを含め180人。

永田啓朗 施設長は「法人創設者の情熱を心に刻み、介護の立場から地域のお役に立ちたい」と話している。



▲益城町安永に完成した特養「ひろやす荘」(写真中央)

熊本駅前前8階建て福祉介護ビル

青照会

熊本駅前看護リハビリテーション学院などを運営する(学)青照学会グループの社会福祉法人青照会(熊本市西区春日2丁目)は、JR熊本駅東側の同学院隣接地に8階建て福祉介護ビルを建

設している。昨年12月13日には現地で起工式を実施している。建物は今年9月末に完成する予定。総事業費は約10億円。

今回建設するビルは特別養護老人ホームとグループホーム、ショートステイ、デイサービスなどからなる複合施設で、クリニックおよび歯科や薬局といった医療テナントも誘致する。ビルの名称は「グッドライフ熊本駅前」。敷地面積は1898㎡、建物は8階建て、延べ床面積は6032㎡。フロア構成は、1階が多目的交流スペース、2階がテナントのクリニックと薬局、3階は事務室とデイサービス(定員30人)、厨房(ちゅうぼう)、4階が地域交流センターとショートステイ(10床)、5〜7階が特別養護老人ホーム(60床)、8階がグループホーム(2ユニット18人)。スタッフは開業までに80人程度を確保する。



▲「グッドライフ熊本駅前」完成予想イメージ(模型)

田迎3丁目に29室の有料老人ホーム

千広

介護用品レンタルの(有)千広(熊本市東区画図町重富)は昨年12月1日、同市南区田迎3丁目に住宅型有料老人ホームを開業した。総事業費は約2億円。「レガロアコンフォート」の名称で有料老人ホームを運営する(株)はびねずさぼーと(京都市)とフランチャイズ契約を結んだ。名称は「レガロアコンフォート熊本」。場所は県営八王寺団地の南西側。敷地面積は815㎡、鉄骨3階建てで、延べ床面積が979㎡。

全個室で一般居室25部屋ほか、「スペースコラポルーム」として4部屋を設けた。スペースコラポルームには(株)大塚家具(東京都)とのコラボレーションで同社の家具を備え付けるなど、インテリアに配慮。また、全入居者の居室における状況を常時把握できる「コンフォートデジタルケアシステム」、入居者の睡眠状況などを把握する「睡眠管理システム」を導入した。入居条件は要支援・要介護認定者。料金は一般居室が月額12万8千円でスペシャルルームが13万8千円。スタッフは15人でスタートし、将来的には30人程度まで増やす。有料老人ホーム「レガロアコンフォート」の開業は全国2カ所目で、九州へは熊本が初めて。千広は「全国有数のインテリアコーディネーターや大手家具とのコラボで、高級ホテルをイメージした空間がコンセプト。他社との差別化を明確にし、運営を軌道に乗せたい」と話している。



▶田迎に開業した「レガロアコンフォート熊本」

田井島2丁目に障害者就労継続支援事業所

福祉事業の咲

介護・福祉や障害者支援など福祉事業を手掛ける(株)咲(熊本市南区田井島2丁目)は昨年12月1日、同地に障害者就労継続支援事業所を開業した。場所は県道熊本浜線沿いのパチンコ店大統領田迎店南側。事業所は、コンクリート二次製品製造の(有)大平コンクリート工業所の本社事務所2階に開設。フロア面積は約90㎡。名称は「それいゆ田井島」で、定員は10人。通所携しコンクリート二次製品の製造過程業務を請け負うほか、食品の加工選別などの委託業務などを請け負う。スタッフは3人。

武蔵ヶ丘4丁目内科クリニックを開院

元武蔵ヶ丘病院勤務の清藤医師

元武蔵ヶ丘病院勤務の清藤千景医師はこのほど、熊本市北区武蔵ヶ丘4丁目に内科クリニックを開院した。場所は武蔵中央公園向かい側、菊陽町役場武蔵ヶ丘支所南西側。名称は「清藤クリニック」。敷地面積は463㎡。鉄骨造り4階建て、延べ床面積は約600㎡。診療科目は内科、呼吸器科、小児科、緩和ケア内科、精神科。診療時間は午前9時から午後12時半、同2時から同6時まで(木曜・土曜日は午後12時半まで)で、午後からは訪問診療も実施する。休診日は日曜・祝日。スタッフは医師1人、事務1人、看護師1人の計3人。清藤院長は「地域の介護支援専門員、訪問介護ステーション、調剤薬局と多職種で連携して在宅医療に携わってきたい経験を生かし、今後は近隣の開業医の先生方とも協力しながら、北部地域の方々に医療面から支えていきたい」と話している。



▶コンクリート二次製品の製造販売を手がける大平コンクリート工業所(熊本市南区田井島2丁目)



早咲 京子さん(56) 福祉事業の咲 社長 (熊本市南区田井島2丁目)

障害者就労継続支援事業所を開業。大平コンクリート工業所と連携し、コンクリート二次製品の製造過程業務や、食品の加工選別などの作業を行います。女性の社会進出や高齢化、障害者の問題などさまざまな支援事業を進めていきます。



守谷 光弘さん(48) 清永宇蔵商店 社長 (嘉島町上仲間)

総合建材商社として事業を行い、創業144年になります。今年はオリジナル製品のスマイルペアやスマイルウインドウ、ユニバーサルデザイン手すりユニット、太陽光発電などの商材の拡販、また、新規開拓も強化していきたいです。



奥村 高史さん(39) くま川法律事務所 弁護士 (人吉市中青井町)

日弁連の公設事務所が前身で、2代目所長として着任した際に人吉・球磨地域の環境が気に入ったため、昨年独立開業しました。今後増えると思われる医療に関する問題にも対応できる専門性を身に付け、地域の町医的存在を目指します。



早田 啓考さん(37) CIEL 社長 (八代市日置町)

インターネットサービスなどの新会社を設立。今後八代市での生活を希望するエンジニアを採用していきます。八代市に都会と同等の賃金を支払う企業を設立し、八代市に生まれ育つ子供たちに明るい未来を提示したいという思いがあります。



山本 恭史さん(37) カフェド・水道町 店長 (熊本市中央区水道町)

酒店が経営する飲食店のため、リーズナブルにアルコールを提供。料理も食事メニューからお酒に合う一品料理まで幅広く用意。カフェやランチに、仕事帰りに軽く一杯、大人数のパーティーなど、水道町の憩いの場として、気軽にご利用ください。



北田 晋哉さん(34) きただ司法書士事務所 司法書士 (熊本市東区月出1丁目)

ホームページで法律豆知識ブログを更新し、会社経営者や個人向けに役立つ情報を提供しています。法律には時効があり、知らなければ損をしまうこともあります。情報を少しでも早く発信し、社会に貢献したいです。



奥村 加奈さん(30) ヴィサージュ 店長 (熊本市中央区手取本町)

エステを水道町から移転しました。エステは敷居が高いと感じる方もいますが、追加料金などはないので安心してご利用いただけますよ。美容だからと肩ひり張らずに、体調を整え、肌の健康を守る感覚で気軽に来店してほしいですね。



高井 陽広さん(30) 車検専科R3 代表 (熊本市北区室園町)

国道3号沿いの竜山内科リハビリテーション病院向かいに車検などの自動車整備工場をオープン。明るく元気に活気ある店づくりを目指します。1台1台のメンテナンスを細やかにし、安心して車に乗っていただける整備を手掛けたいです。